

頸城鉄道ワ14組み立て説明



別購入部品と部品一覧

別購入部品

部品一覧

エッチング板0.4mm(大)		1
屋根		1
真鍮帯板	2.0×1.0mm	1
真鍮角線	2.0×2.0mm	1

品名	規格	メーカー	備考
朝顔型カプラー(E)		珊瑚	
古典貨車用軸受け	分割、ロスト	珊瑚	*
車輪	10.5(スポーク)	珊瑚	

以下は素材ですので、メーカーはどこでもかまいません。

真鍮アングル	5×4mm	エコーまたはKS	
真鍮角線	1.5×1.5mm		
真鍮角線	0.8×0.8mm		
真鍮アングル	1.0×1.0mm		
真鍮アングル	1.0×2.0mm		
真鍮帯板	10.8×0.4mm		
真鍮線	0.5mm		
真鍮線	0.7mm		
真鍮板	1.0mm		
真鍮板	0.5mm		

* 客車等を作ったときのロストのブレーキシューが2組残っていれば、軸受けにホワイトメタル製を使って、ロスト製のブレーキシューを使う方法もあります。

別購入部品と部品一覧

部品一覧

エッチング板0.4mm	1
屋根	1
真鍮帯板 2.0×1.0mm	1
真鍮角線 2.0×2.0mm	1

別購入部品

品名(規格)	メーカー
朝顔型カプラー(E)	珊瑚
古典貨車用軸受け (分割、ロスト)	珊瑚
車輪 10..5(スポーク)	珊瑚

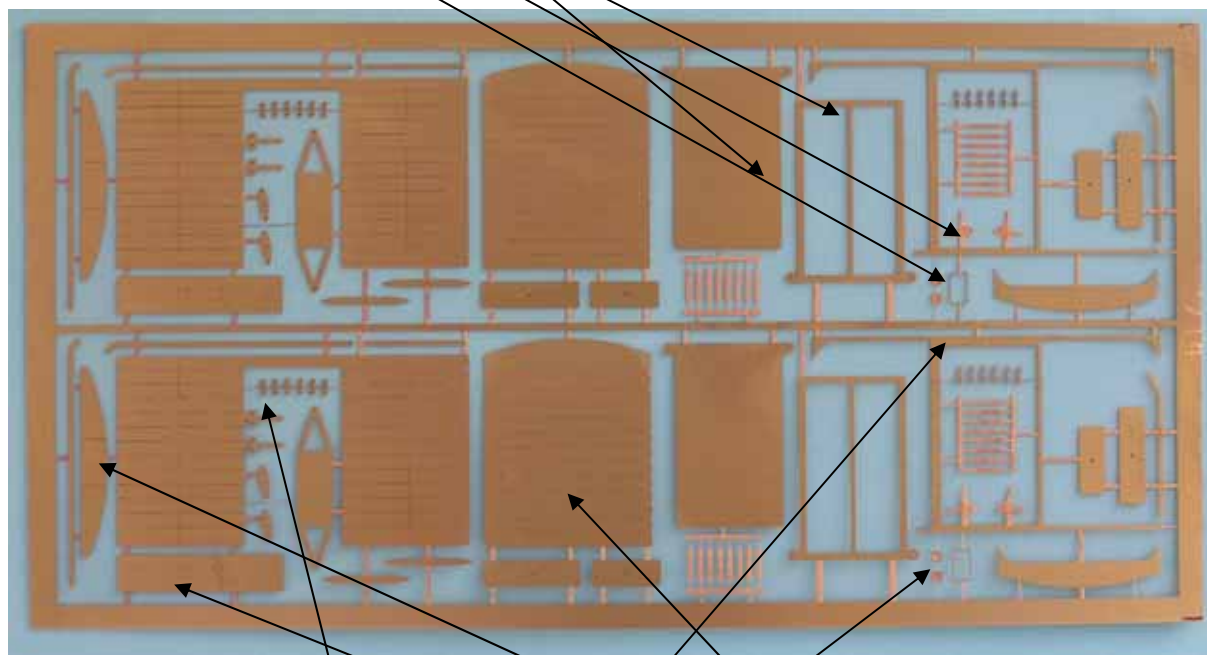
別購入部品

以下は素材ですので、メーカーはどこでもかまいません。

真鍮アングル	5×4mm(5×4mm(でも可))
真鍮角線	1.5×1.5mm
真鍮角線	0.8×0.8mm
真鍮アングル	1.0×1.0mm
真鍮アングル	1.0×2.0mm
真鍮アングル	1.0×2.0mm
真鍮帯板	0.8×0.4mm
真鍮帯板	1.4×0.4mm
真鍮帯板	2.0×0.4mm
真鍮線	0.5mm
真鍮線	0.7mm
真鍮板	1.0mm
真鍮板	0.5mm

1. 部品の説明(0.4mm厚真鍮板)

- 3-1. ドア
- 3-2. ドア枠
- 3-3. ドア金具
- 3-4. 荷札差し



- 1-1. 側板-
- 1-2. 側板-
- 1-3. 票差し
- 2-1. 妻板
- 2-2. 妻板上部-
- 2-3. 妻板上部-
- 2-4. 端梁

材料

(片面の数量です)

エッチング板から
1-1.側板-
1-2.側板-
1-3. 票差し

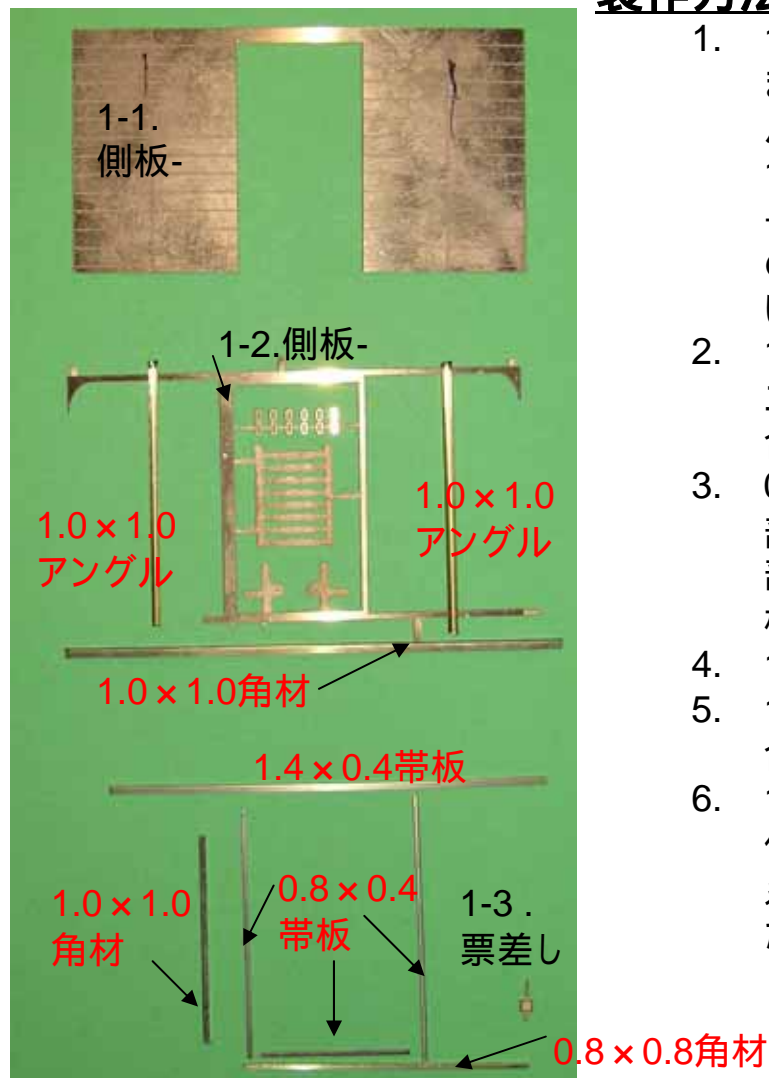
素材から

(片面の数量、長さは余裕を見込んでいます)

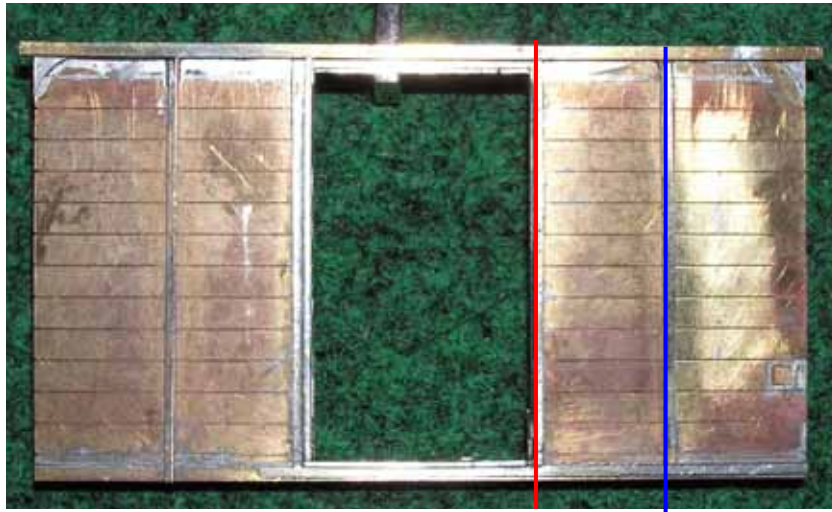
1×1 アンクル
39.5mm 1本
38.0mm 1本
0.8×0.4帯板
37mm 2本
22mm 1本
1.4×0.4帯板
80mm 1本
0.8×0.8角材
47mm 1本
1.0×1.0角材
35mm 1本
72mm 1本
5×4アンクル
25.5mm 2本

製作方法

1. 1-1.側板- の下に1×1角材を付けます。1-2.側板- を上部を合わせてハンダ付けします。さらに上部には1.4×0.4帯板は両脇を出っ張らせて長さに余裕を残しておきます。これらの位置関係は次ページをご覧ください。
2. 1×1アンクルを側板につけます。エッチングの縦線の向かって外側に合わせます。
3. 0.8×0.8角材(戸あたり)を1-2の部分の左側に合わせて付けます。部分の内側にあわせて、0.8×0.4帯板をハンダ付け。
4. 1-3.票差しを付けます。
5. 1.0×1.0角材を1-2側板- の下辺に合わせてハンダ付け
6. 1-1.側板- 、1-2.側板- の内側に付いている小部品は、組み立て後に糸鋸で切り離します。(ひずみ防止のため)

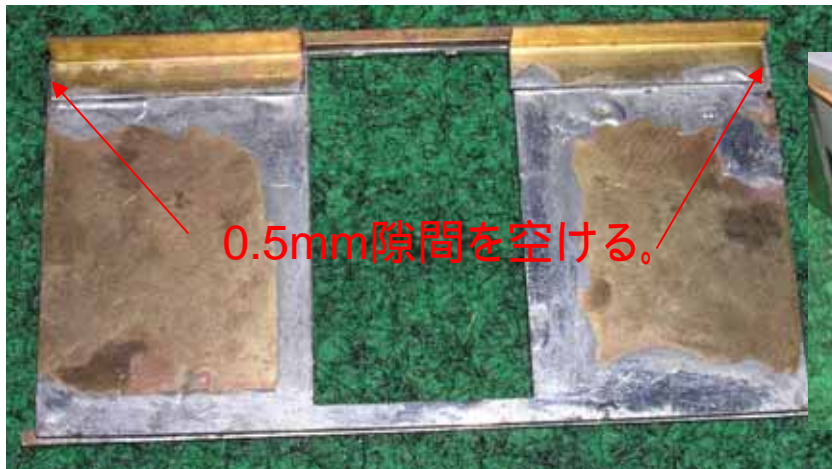


2 側板の製作 1



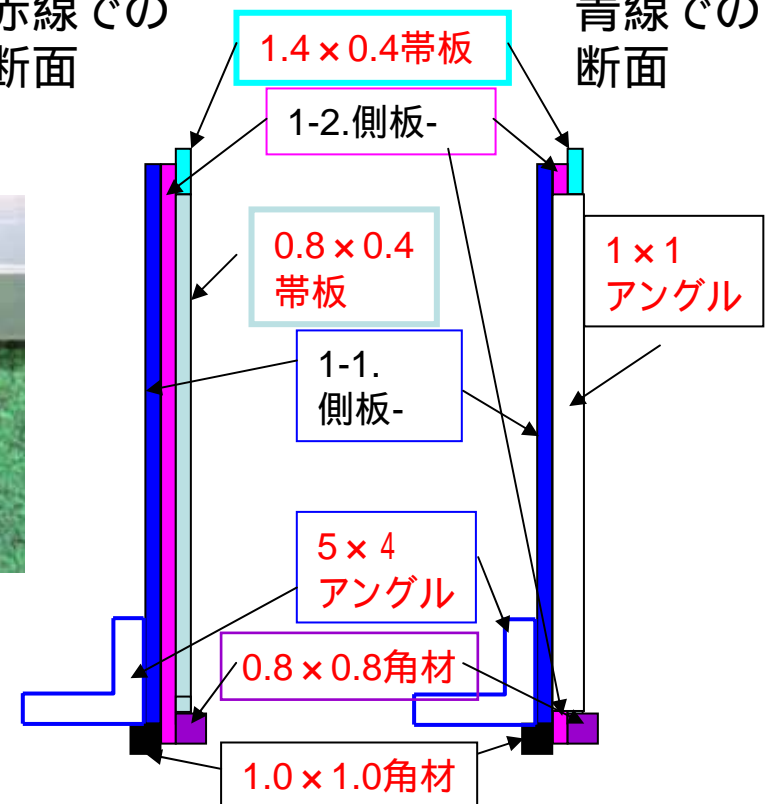
製作方法

1. 側板裏側に5×4アングルを付けます。1-1.側板- の下に1×1角材を付けます。1-2.側板-、1.4×0.4帯板を上部を合わせてハンダ付けします。1.4×0.4帯板は両脇を出っ張らせて長さに余裕を残しておきます。



赤線での
断面

青線での
断面



3 妻板の製作

材料

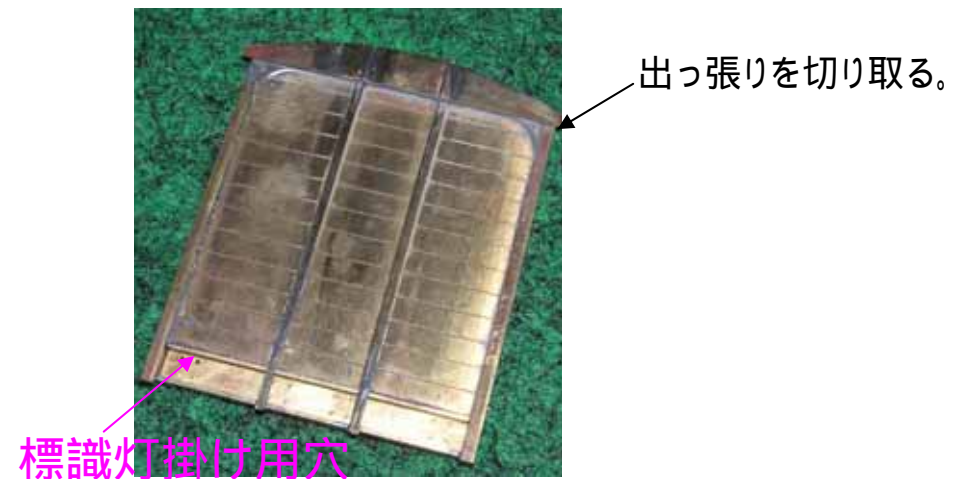
エッチング板から
2-1.妻板
2-2.妻板上部-
2-3.妻板上部-
2-4.端梁

2×2真鍮角材
47mm 2本
50mm 2本

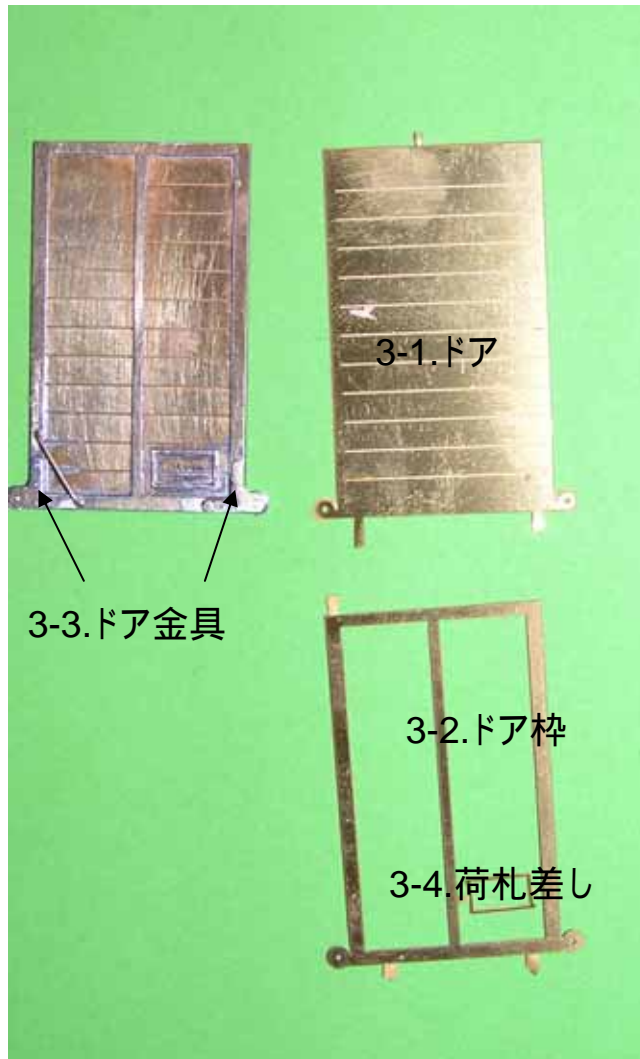
素材から
(片面の数量です)
1×1 アンゲル
39.5mm 1本
38.0mm 1本
1.5×1.5角材47mm



1. 2-1.妻板に妻板上部両肩のカーブに合わせて2-2妻板上部- を付けます。
2. 1.5×1.5角材を側板の両脇に、2-2とツラ位置になるよう付けます。下側は0.5mm出っ張るようにする。
3. 2-3.妻板上部- に1×1アンゲルを、2-3のスジに沿って付けます。1×1アンゲルの下側は0.5mm出っ張るようにする。
4. 2-4.の端梁のリベットを裏から押しだします。左上の2ツは標識灯掛け用に0.5mmの穴を開けます。コの字型に曲げて妻板下部に付けます。2-1妻板とツラ位置になるようにします。
5. 2-3.妻板上部- の両脇の出っ張りを切り取る。



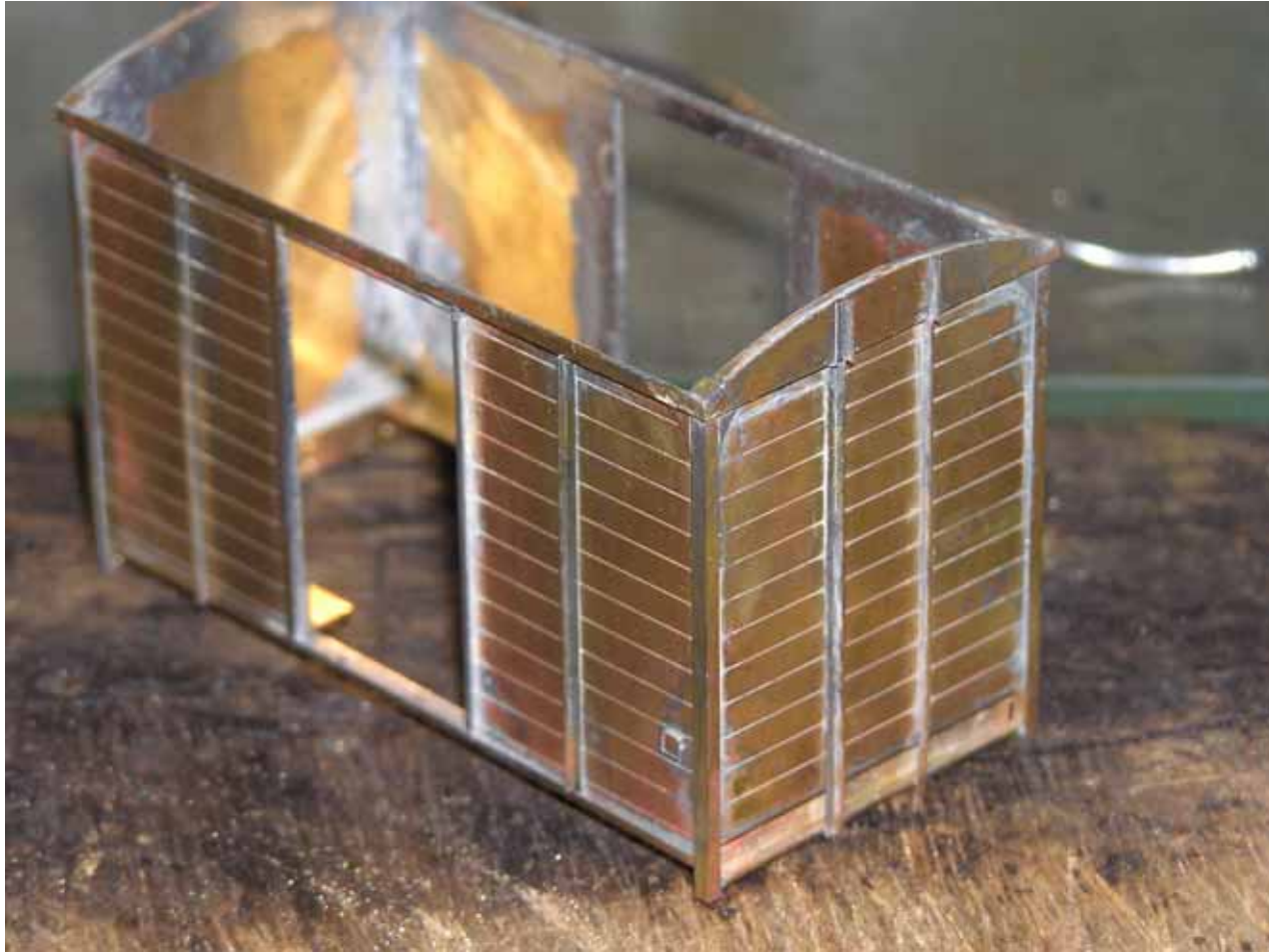
ドアの組み立て



製作方法

1. 3-1. ドアに3-2. ドア枠をハンダ付けします。
2. ドア金具を付けます。
3. 滑車中心部に0.5mmの真鍮線を差し込みハンダ付け。
4. 0.5mm真鍮線で、手すりを付けます。
5. 3-4荷札差しを付けます。

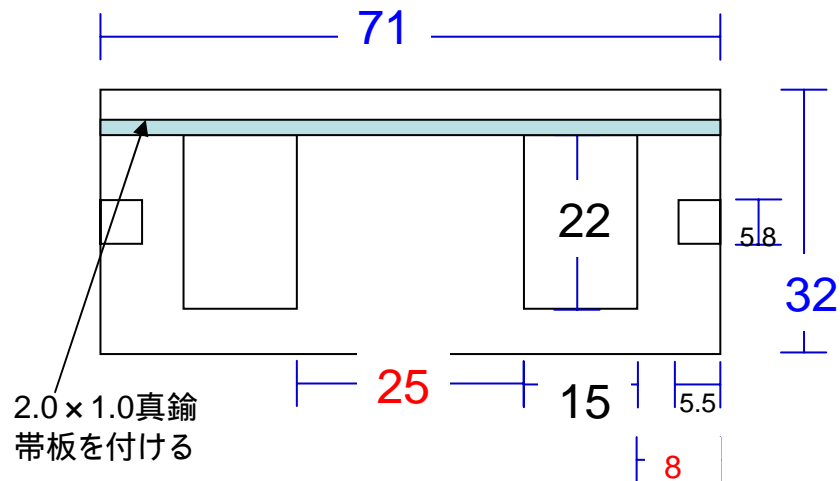
車体の組み立て



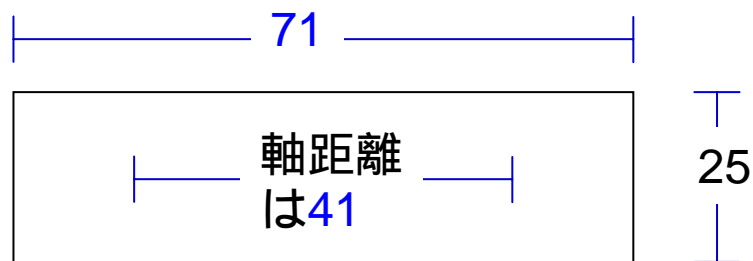
車体を箱にします。

貨車下回りの組み立て

1.0mm厚真鍮板

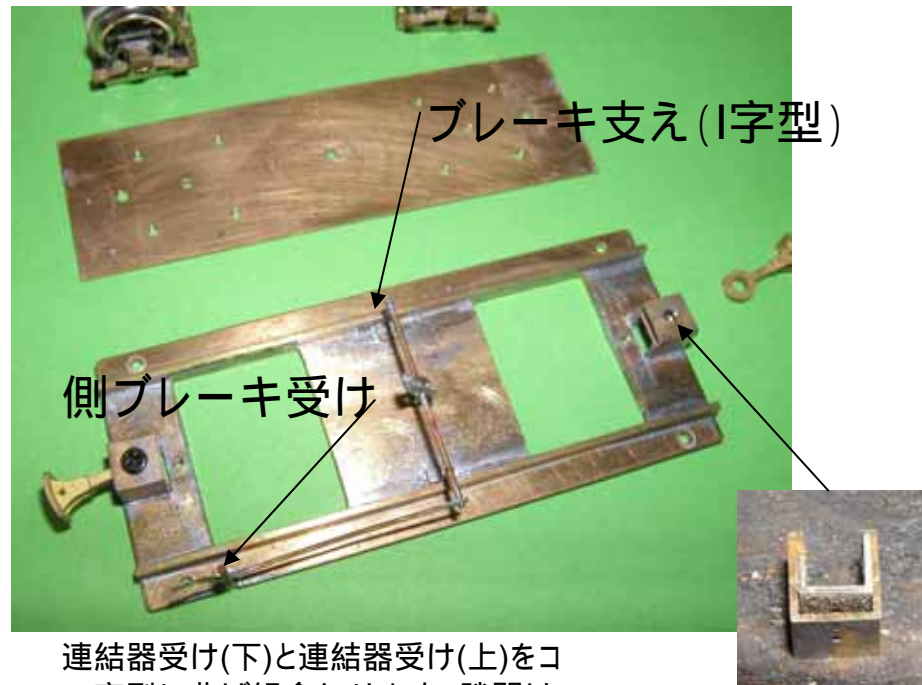


0.5mm厚真鍮板



単位mm

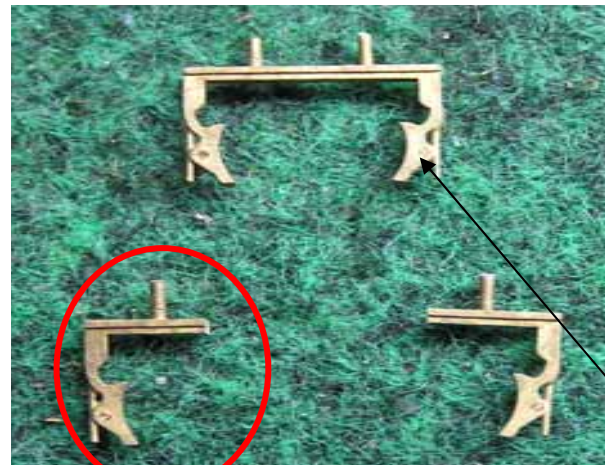
左記の寸法で1.0mm、0.5mm厚の真鍮板を切り抜きます。2.0×1.0真鍮帯板を付け、ブレーキ支え、連結器受け、側ブレーキ受けを付けます。



連結器受け(下)と連結器受け(上)をコの字型に曲げ合わせます。隙間は1.5mmで、連結器が入ること確認してください。

ブレーキの組み立て1

ブレーキ部品2



半分に切断



0.5mmの穴を開ける

ブレーキ梁

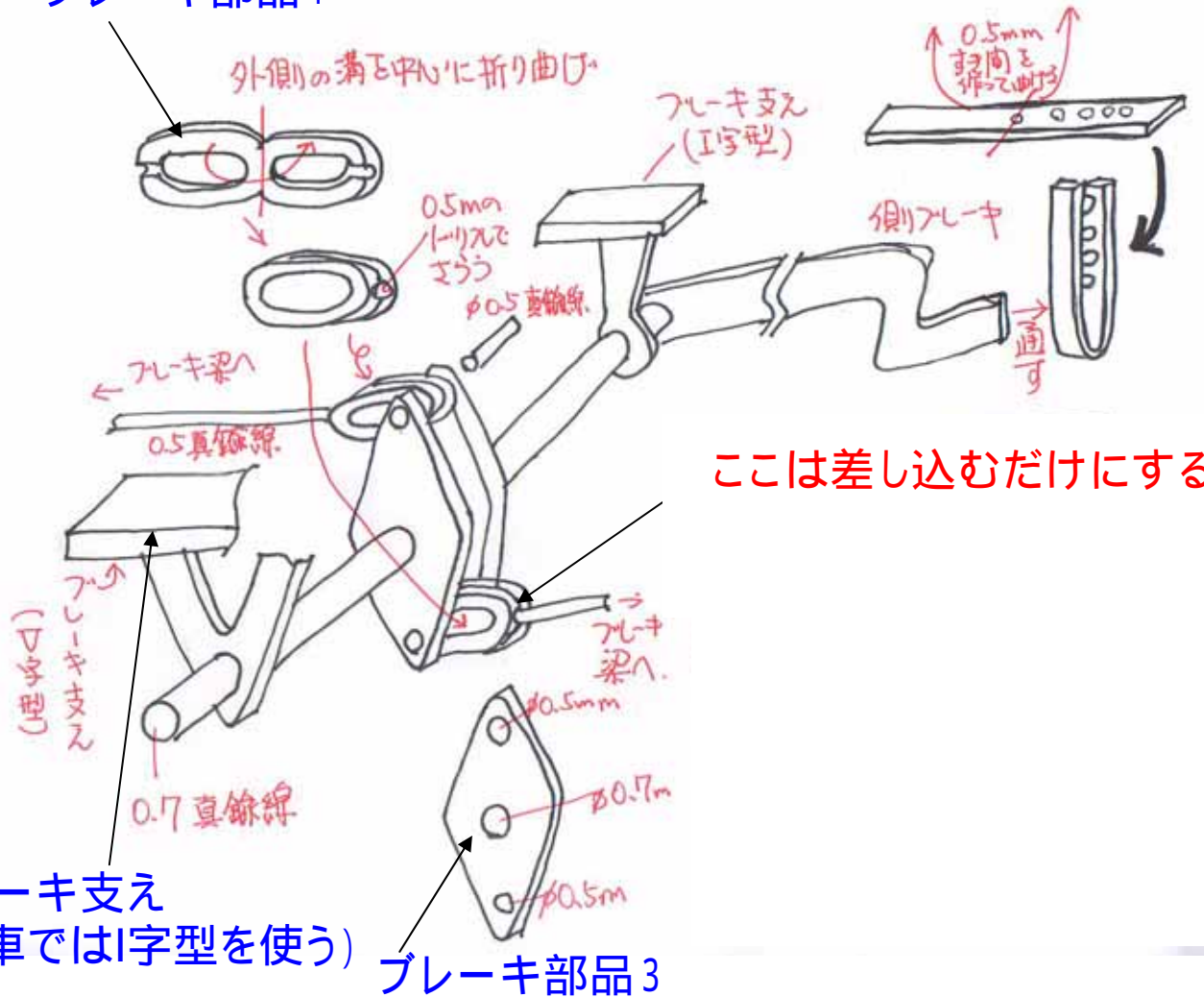


ブレーキ梁

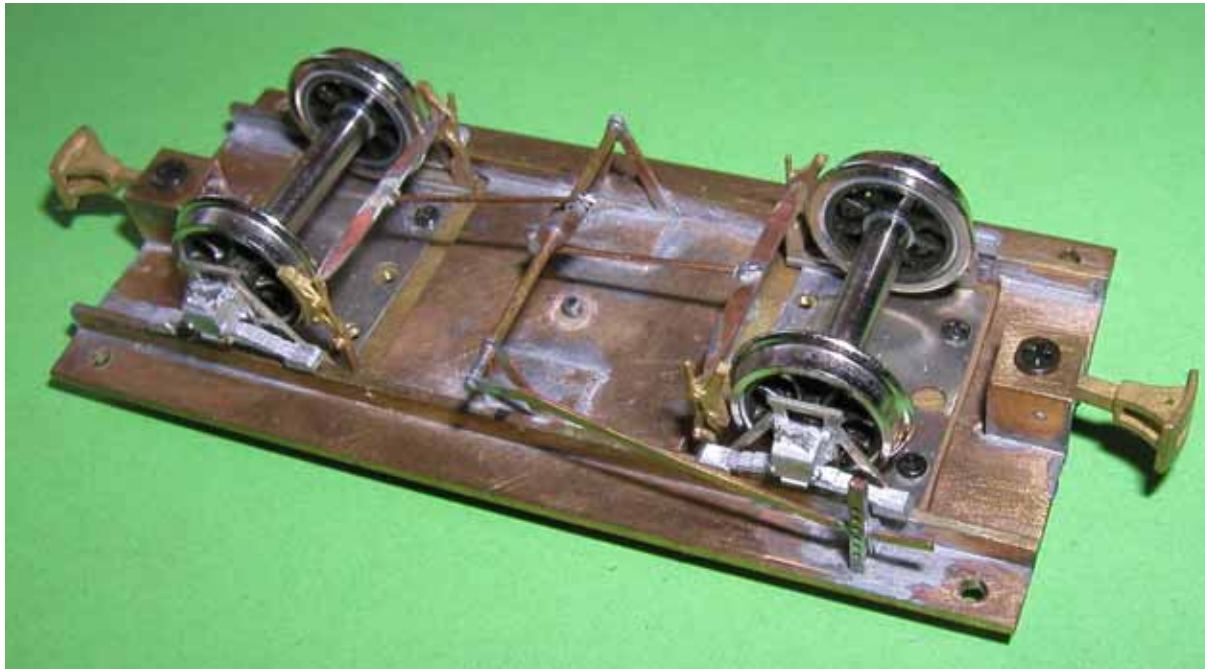
ブレーキ部品2

ブレーキの組み立て2

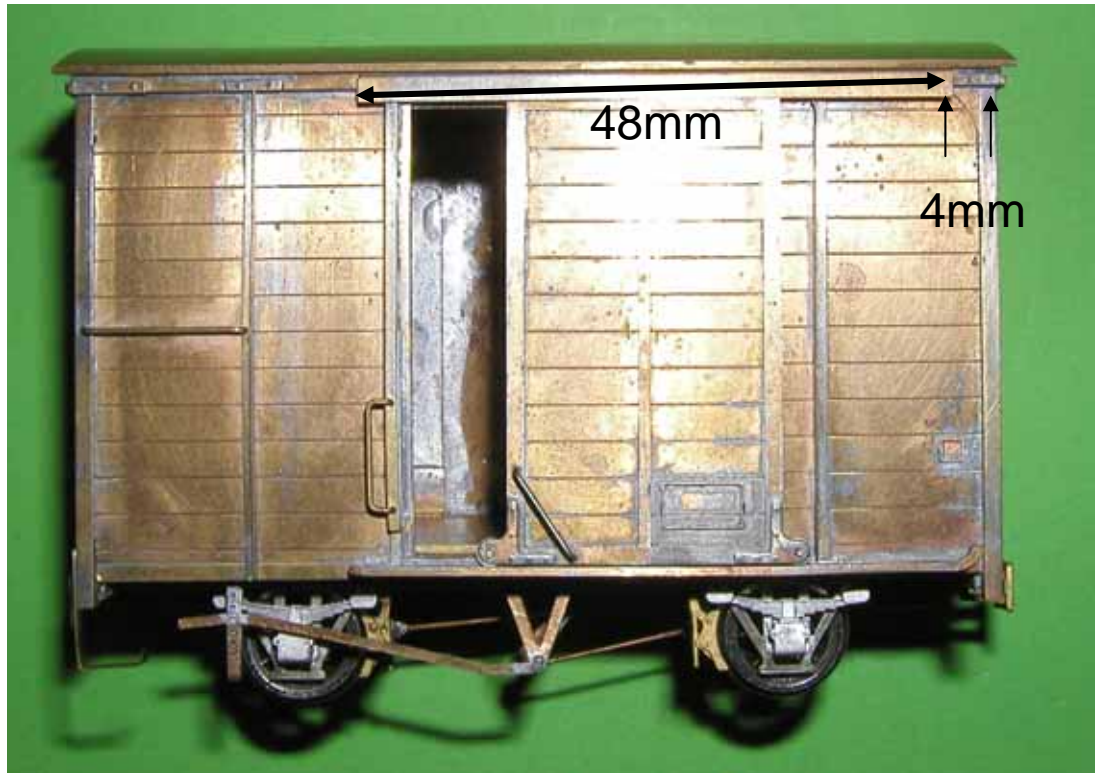
ブレーキ部品1



貨車下回りの完成状態



仕上げ



ドア上部に0.8×0.8角線を取り付けます。(ワ13の説明参照)。ドアレールカバーを2×1mmのアンゲルで作し、取り付けます。長さは48mm、妻板右端より4mmに端が来るようにします。

側面左には手すりとステップを付けました。